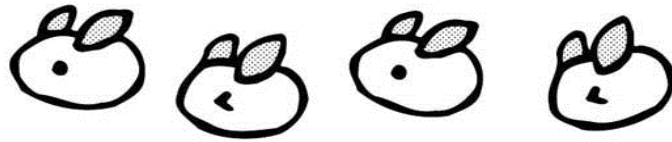




やさしい手のひら



いしおかブロック保育研究委員会

一部抜粋



今月のお便りは、子育ての悩み4位の「反抗期～子どもが駄々をこねた時の対応～」についてです。忙しい時に限って駄々をこねられるのはイライラの原因ですね。でも、子どもが駄々をこねるのには必ず理由があります。



駄々をこねる理由

- ① 愛情の確認 →甘えたい。自分に気をひきたい。かまってほしい。
- ② ストレス →子どもでも家の外に出れば、友達とけんかをしたり、気を遣ったりと小さなことでも我慢することがある。
- ③ 反抗期 →出来ることが増える一方で、まだまだ甘えたいと感じる心と闘っている時期。
- ④ 環境の変化 →友達と会えなくなった。クラスや担任が変わった。

対処法

- ☆気持ちを受け止めてあげる →会話をするときには感情的にならず、駄々をこねている内容や気持ちに共感し、どうしたいのか、どうすればいいのかを一緒に考えてあげる。今は時間がなくて対応できないのであれば、その理由をやさしく伝え、時間が出来たときに関わってあげる。
- ☆その場から移動する →人が少ない落ち着ける所に移動して話を聞く。
- ☆前もって約束をしておく →例えば、買い物に行く前に今日買うものを何個と事前に約束する。
- ☆気持ちの切り替えを工夫する →「お家に帰ったら一緒に～しようね」などと気持ちが切り替えられる話をする。
- ☆伝え方 →「～してはダメ！」ではなく、「～してね！」の伝え方をする。
- ☆反抗期を知る →親の言うことに反抗をしたり、聞こえないふりをすることもある。成長の証しと考え、感情的にならずに一呼吸置いてから関わりを持つ。出来ることが増えたり、頑張っていることを認め、ほめてあげる。



◎反抗期は成長しているという証しです。

あなたの事が大好き！！いつも見守っているよという気持ちを、スキンシップや言葉、笑顔という愛情でどんどん伝えていってあげて、反抗期を上手に乗り越えましょう。